

令和3年度 北区組織目標

組織名	北区	区長	北区長 高橋 昌子
組織の目的・方向性	北区区ビジョンまちづくり計画で区の将来像として掲げた、「自然・活力・安らぎにあふれるまちー住みたくなるまち 北区ー」のもと、「住みたい」はもちろん「戻ってきたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進めます。		

北区組織目標

「住みたくなるまち 北区」を目指し、北区区ビジョンの5つの区のすがたに重点的に取り組み、北区の魅力を高め、地域との協働を推進します。

〈重点目標〉

- 1 自然環境の保全と積極的活用
- 2 都市基盤の整備
- 3 魅力ある産業の振興
- 4 学びと健康・福祉の充実
- 5 安全で快適な環境づくり

※重点目標における指標や取組状況は、組織目標管理シートをご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	30	達成数	23
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況下でも、新しい生活様式に努め、取組みを進めました。 ○ 十二瀉やひょうたん池において、地域団体と協働して異常発生植物の駆除など自然環境の保全や、小学生が参加する観察会やポスター作成などの情報発信に取り組みました。 ○ 新崎駅自由通路へのエレベーターの設置については、設計に着手し、鉄道事業者と協議を進めました。 ○ 地域商業活性化のため、地域のフリーペーパーに北区特産品を使った飲食店の特集記事を掲載し、北区の魅力を発信しました。また、農業分野へのICT技術の活用として、意欲的な若手農家をモニターに養液土耕栽培の栽培実証を行い、有効な効果を得ることができました。 				

	<p>○ 健康寿命延伸に向けた特定検診受診率の向上のため、検診カレンダーの全戸配布や看護職員による受診勧奨を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標には届きませんでした。また、大学生による家庭介護セミナーを開催し、介護の知識や技術を身に付けてもらうとともに、学生と地域の交流を深めました。</p> <p>○ 北区河川別ハザードマップ等を活用し、各地域で説明会を開催し、地域の自主防災力の強化を図りました。また、地域の防犯活動団体を対象に情報交換会を開催し、各団体の課題や解決方法などを共有し、地域防犯力の向上を図りました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>地域との協働により、水辺環境の保全活動に取り組むとともに、自然教育、地域づくり、ふれあいの場になるよう自然環境の保全と活用を行います。</p> <p>生活基盤である道路、公園等の維持管理に努めるとともに、地域課題の解決に向け、地域と一緒に考え、取組みを推進します。</p> <p>基幹産業でもある農業分野では、施設園芸へのICT技術の導入やブランド力強化を進めるとともに、商工業分野でもPRや販路拡大を支援していきます。また、ウィズコロナ・ポストコロナに対応できる観光資源の魅力づくりにも取り組めます。</p> <p>健康で安心安全な住みやすい地域となるよう、健康寿命の延伸、介護予防、認知症対策、子育て支援の充実に引き続き積極的に取り組めます。</p> <p>また、郷土の歴史である、木崎村小作争議の企画展を行い、情報発信していきます。</p> <p>安全で快適な地域づくりに取り組むとともに、自主防災力の向上を推進し、避難生活のあり方について住民自ら考える機会を作ります。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-387-1150

年度	令和3年度	
組織名(部)	北区	組織名(準部・課・機関名)
組織の目的	北区区ビジョンまちづくり計画で区の将来像として掲げた、「自然・活力・安らぎにあふれるまちー住みたくなるまち 北区ー」のもと、「住みたい」はもちろん「戻ってきたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進めます。	

作成日	令和3年4月1日
修正日	
評価日	令和4年3月31日

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果	補足・参考指標
1	1	地域と協働し水辺環境の保全と積極的な活用を推進します。	・異常発生植物等の駆除 ・観察会・勉強会の実施 ・環境保全活動	取り組み地区数(地区)	-	-	2	2	2	・松浜地区のひょうたん池と岡方地区の十二溝の2地区で、地域コミュニティ協議会や地元NPO法人と協働して、自然豊かな水辺環境保全のための仕組みづくりを構築した。 ・具体的には異常発生植物の駆除、小学校児童が参加する観察会、遊歩道の修繕等を実施した。	達成	
2	1	松浜海岸の飛砂被害の軽減と暮らしやすい環境づくり、地域の問題を共有するため、官民協働での植栽イベント等を行います。	・地元小学校・住民、国土交通省、新潟市による官民協働の植栽イベントの開催 ・実施に向けた地元及び関係機関との調整協議	目標参加人数:200人以上	-	-	-	200	200	・区づくり事業(令和3年度~5年度) ・参加人数=官+民	・地元小学生及び自治振興会等とともにアキグミ植栽を行い、今年度も参加人数200人を達成しました。	達成
3	2	「北区生活交通改善プラン」(令和2年3月策定 3か年計画)に基づき、身近な生活交通を確保します	・社会実験の継続および本格運行に向けた取り組みの実施	デマンド交通の乗合率(%)	49.1	46.8	53	60	50.3	・対象は長浦・岡方地区、葛塚地区の一部地域 平成24年10月に運行開始 ・現在は料金体系の見直し案について地域合意形成中、改正に向けて準備中	・目標は達成できなかった。今後は、長浦地区、岡方地区で異なる社会実験を行い、持続可能な公共交通として運営できるように取り組んでいく。	未達成
4	2	上半期の高い工事発注率を維持します。	・工事の早期発注	上半期の工事発注率(%) (発注件数/当初計画件数)	86.6	91.4	89.8	85	94.2	・対象は長浦・岡方地区、葛塚地区 ・250万円以上の当初工事計画件数を分母とした上半期発注率85%以上を発注 (対象工事:維持40本、整備29本)	・目標は達成しており、年度途中の追加工事発注や工程管理を余裕をもって行うことができました。	達成
6	2	新崎駅自由通路高側エレベーターを設置し、児童の通学路や避難路としての利便性向上と安全性の確保を図ります。	・次年度以降の工事施工に向けた実施設計業務委託の発注 ・JRや本庁など庁内外の関係機関との協議	業務委託の発注	-	-	-	実施設計業務委託の発注	実施設計業務委託の発注	・工事施工に向けて隣接住民への説明	・実施設計業務委託を予定通り発注し、JR協議を進めてきました。協議に時間を要したため遅れが生じましたが、計画協議に対する資料は作成できました。	達成
6	3	地域商業活性化のため、テーマを設定し、テーマに沿った商品、コンテンツ開発やPRを行い、各店舗等において使用することで新規顧客とイメージアップを図ります。	・地域商業 viable 創出プロジェクト	地域ごとのイベント等の実施(回)	3	3	4	3	4	-	・松浜地区では味噌づくり体験、こらっせ松浜市、葛塚地区においては、似顔絵のSNSでの情報発信、婚活事業を行いました。	達成
7		新型コロナウイルス感染症に対応した生活活性化の取組(回)	-	-	-	1	1	-	-	・北区の食の特産品アールと飲食店支援の観点から、地域のフリーペーパーに北区特産品を使った飲食店の特集記事を掲載し、北区の魅力を発信しました。	達成	
8	3	官民一体となった海岸保安林の保全活動を推進し、森林資源や環境を有効に活用する方を検討します。	・下草刈などの保全活動の実施	保全活動の実施 (参加人数)	169	161	157	160	193	・保全活動エリア約5haを住民と協働で維持管理します。	・コロナ禍にもかかわらず、多くの方の参加があり、海岸林の保全が図られました。	達成
9	3	生産現場にICT等の新技術を導入することで農業所得の増大、担い手の確保を図り、地元ブランド農産物の安定生産を実現し、地域経済の活性化につなげます。	・農作業の省力化、品質の平準化を可能とするICTを活用した新技術の導入に向けた栽培実証の実施	栽培実証数(件)	-	-	-	1	1	・県内有効な産地である、トマト栽培におけるICT技術の普及に向けてモニター農家による栽培実証(養液土耕栽培システム・環境モニタリングなど)を実施します。	・意欲的な若手農家をモニターに、養液土耕栽培の栽培実証を行い、有効な効果を得ることができました。	達成
10	4	常設展及び、常設のテーマを深化・拡大した企画展の充実を図ります。そして、それらに関連するさまざまな事業を多角的に行うことにより、北区民の地域への関心を高めるとともに、一体感を醸成するよう努めます。さらには、郷土芸能の伝承を支援します。	・常設展「阿賀北の大地と人々」の年間入館者数及び事業参加者数(人) ・「ふさと学習の利用拡大(小中学生公募)」「松蔭賞書道展」/「北区こども科学展」など ・第30回博物館まわりの開催 ・美術企画展「本の読みかた、愛しかた」の開催 ・美術企画展「眼と手のあいだー写す」の不思議ー」(仮称)の開催	年間入館者数及び事業参加者数(人)	9,141 (入館者: 8,265人、館外事業参加者: 876人)	9,088 (入館者: 8,895人、館外事業参加者: 173人)	6,497 (入館者: 6,242人、館外事業参加者: 255人)	6,500 (入館者: 6,250人、館外事業参加者: 250人)	7,478人 (入館者: 7,171人、館外事業参加者: 307人)	・常設展拡大企画展の開催 ・「ふさと学習」の利用拡大 ・美術企画展の開催 ・恒例の「博物館まわり」においては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止し、令和3年度は、感染拡大の影響を見ながら、時間や人数制限をしながら対策を取って、実施しました。 ・松蔭賞書道展、こども科学展の感染対策をとって実施の方向。 ・来館者数は、令和2年度と同程度の入館者数とします。	・常設展拡大企画展として「昭和の暮らし」として「昔の子どもの日々」、「日々をいろう」の「食の風景」を開催しました。 ・美術企画展「本の読みかた、愛しかた」、「眼と手のあいだ」を開催しました。 ・「博物館まわり」は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止しましたが、感染対策として、代替事業「博物館で楽しむ琵琶の調べ」コンサートを実施しました。 ・松蔭賞書道展は、表彰式を3回に分けて実施するなど、感染対策をとって実施しました。こども科学展も対策を取りながら、実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため休館した期間(R3.9.3~9.16)もありましたが、年間入館者数は、昨年比+14.6%増でした。	達成
11	4	つながり、交流し、支えあう地域づくりを推進するため、北区地域福祉計画・地域福祉活動計画の普及・啓発を進めるとともに、生活習慣病の重症化予防を推進します。	・「地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会」を開催 ・各地域コミュニティ協議会や区社会福祉協議会など福祉関係機関等との協働により福祉座談会を開催	推進策定委員会開催(回) 地域福祉座談会開催(回)	-	-	・委員会3回(内、書面開催1回)・座談会8回 ・講演会の開催	・委員会3回 ・座談会8回 ・委員会2回 ・座談会7回(1地区はコロナのため開催できず)	・地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を2回開催(内1回は書面開催)し、計画推進のための取組について報告・協議しました。地域福祉座談会は、区社会福祉協議会と協働し、各コミュニティ7回地域福祉座談会を開催しました。 これにより、地域福祉計画と地域福祉活動計画の推進を行いました。	一部未達成		
12	4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進するため、健康寿命の延伸に向けて、特定健康診査率を向上させるとともに、生活習慣病の重症化予防を推進します。	・健康カレンダーの全戸配布 ・未受診者に対する受診勧奨 ・健康教育など地域活動時の声かけ ・ミッドウ型集団健康診査の実施 ・高血圧に注目した健康講座の開催	特定健康診査受診率(%) (4,754人)	33.9% 市受診率 35.48%	33.83% 市受診率 36.46%	31.61% (4,180)	前年度比較 0.5%UP	24.22% (3,224人)	・未受診者及び新規国保加入者へ架電による受診勧奨の実施 ・健康教育や地域の会議等で受診勧奨実施	・受診率は、年度途中の集計結果ですが、市平均を下回っています。 ・健康カレンダーの全戸配布、看護職による架電での受診勧奨(486世帯)、また、新規国保加入者への受診勧奨(168名)を実施、ミッドウ型健康診査を3日間で開催し、健康教育や学校への声かけや健康教育などを実施し、受診率の向上に努めました。	一部未達成
13				生活習慣病予防講座開催数(回)	11回	7回	4回	7回	6回(1回はコロナのため開催できず)	・公開講座を1回と、2回コースを3会場実施しました(1回コロナで中止)。 ・教室参加者に尿中ナトリウム検査を実施した結果、推奨塩分摂取量は、全体平均で初回より最終回の方が減少していました。	一部未達成	
14	4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進するため、高齢化の進展に伴い、増加が予想される認知症患者を早期に発見し、早期治療につなげます。	・もの忘れ検診の実施 ・検診会の実施 ・認知症に関する啓発 ・地域の茶の間の「リダー養成」 ・フレイル予防事業	受診者数(人)	1,393	1,150人	979人	1,000人	791人 (R4.2未現在)	・受診者数(R4.2未現在)は減少していますが、要経過観察、要精密検査全員に地域包括支援センターが関わり、必要なサービス利用につなげることができました。 ・検診会はできませんでした。医師会15班会議にリモートで実施状況を報告しました。 ・包括支援センター会議で実施状況を報告し、検診に対する要望など意見交換を行いました。	一部未達成	
15				地域での認知症予防講座開催数	2	7	15	15	14 (R4.2未現在)	・サロン等に作業療法士(職員)・運動普及推進委員が向かい14回の予防講座を実施し196人(R4.2未現在)の参加がありました。	達成	
16				フレイルチェックの実施回数	-	-	2	2	4 3(1回はコロナのため開催できず)	・北区地域コミュニティセンターにて1回、葛塚コミュニティセンターにて2回実施しました。参加者35人のうち19人が2回続けて参加しました。	達成	
17	4	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくりを推進するため、介護について学んでいる大学生と連携し、介護の基本的知識やスキルを身に付けてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深めます。	・大学生による家庭介護セミナーの実施	地域での大学生による介護セミナー実施回数	-	-	2	2	2	・要健康センターにて1回、北区地域コミュニティセンターにて1回実施し、16人の参加がありました。コロナの影響を受けセミナー一回や定員、内容の縮小はありましたが、学生との交流を通じて介護に関する知識や技術をより深めていただけたこと、実施しました。	達成	

No.	部 区 組 織 目 標	組 織 目 標	主 な 取 組 (事 業)	指 標							目 標 達 成 状 況	評 価
				項 目 (単 位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果	補 足 ・ 参 考 指 標		
18	4	妊産期から出産後の切れ目ない子育て支援を行います。	・月1回の支援検討会の充実 ・支援を要する対象者への妊産期からの継続的な支援の実施 ・ケースワーカーと保健師と連携した支援	支援を必要とする妊産婦に対する相談及び訪問を実施した数(人)	必要な対象者への支援100%	必要な対象者への支援100%	対象者に対しての全数	対象者に対しての全数	対象者に対しての全数	・検討会で全妊婦の母子手帳交付時の状況を確認し支援が必要か決定します。 ・産後新たに支援が必要になった人の振り返りを含めた検討会を実施します。 ・障がい福祉サービス等円滑な利用につなげます。	・月1回の検討会で全妊婦の検討と全新生児訪問記録を確認し支援の必要な人と支援方針を決定、さらに相談及び訪問状況のモニタリングを行い、対象者84人、延171人に妊産期から出産後の切れ目ない子育て支援を行いました。 ・ケースワーカーと保健師と協働で支援し、医療依存度の高い乳幼児を早期に障がい福祉制度に繋ぐことができました。	達成
19	4	健康寿命の延伸や介護予防に向けて、自ら予防できる市民を増やし、健康で暮らせる地域づくりを推進します。	・保健事業や依頼健康教育など地区活動時の声かけ ・医療機関に健診受診勧奨の協力依頼 ・特定保健指導の未利用者訪問 ・運動講座の開催 ・関係機関と連携した、健康寿命延伸に関する知識の普及啓発	健診受診勧奨の協力依頼をした医療機関数(か所)	—	—	—	6	6	・特定健診委託医療機関訪問等で健診の受診率向上を図ります。	新型コロナウイルス感染症の流行状況や医療機関の繁忙化等から、健康課題と事業日程を掲載した冊子とともに文書で受診勧奨協力依頼を行いました。	達成
20	4	健康寿命の延伸や介護予防に向けて、自ら予防できる市民を増やし、健康で暮らせる地域づくりを推進します。	・保健事業や依頼健康教育など地区活動時の声かけ ・医療機関に健診受診勧奨の協力依頼 ・特定保健指導の未利用者訪問 ・運動講座の開催 ・関係機関と連携した、健康寿命延伸に関する知識の普及啓発	高血圧予防等生活習慣病予防をテーマにした健康教育(回)	—	—	16	16	19	・各種保健事業や地区活動等で地区データを活用した健康教育を実施します。	がん検診や地域の茶の間、子育て支援センターや学校保健委員会にて、さらに中学生に対して、地区の健康課題と生活習慣病について9回健康教育を行いました。また、学校文化祭でも健康データと予防について掲示を行い知識の普及啓発を行いました。	達成
21	4	スポーツ活動を通じたスポーツを愛好できる機運を醸成するとともに、文化・芸術事業による賑わいの創出と地域の活性化を図ります。	・区スポーツ協会などと連携して競技別大会の実施 ・ニュースポーツの体験会 ・スポーツレクリエーションの実施	参加者数(人)	1,960	1,928	813	1,000	1,427	・多くの人が参加できるよう、指定管理者や関係団体と連携して取り組みます。新たに身近な場所のできる運動の普及を図ります。	コロナ禍の中、感染拡大防止対策を講じ事業や関係団体と連携して取り組みます。新たに身近な場所のできる運動の普及を図ります。	達成
22	4	地域の自主防災力の強化を図ります。	・市民・指定管理者・行政の協働による北区文化会館の利用促進	年間利用者数(人)	88,824	78,023	33,450	43,500	49,642	・新型コロナウイルス感染症の影響を1年間と考慮し、前々年度目標の約50%と設定します。	コロナ禍の中、感染拡大防止対策を講じ各種公演を実施した他、ローを活用して、企画展や特別支援学校の作品展等を開催する等集客に努めました。	達成
23	5	地域の自主防災力の強化を図ります。	・地区の災害リスク、避難のあり方について説明会を実施	説明会の実施組織数	—	—	14	20	30	・「避難の目的」、「避難所開設基準」チラシ及び北区河川別ハザードマップ、総合ハザードマップを用いて説明	感染症対策を徹底しながら、リスクの少ない講義形式をとるなど、依頼のあった団体と連携しながら開催し、目標を達成することができた。	達成
24	5	自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、市民団体などの協働により地域課題を解決します。	・地域活動補助金 ・コミ協運営助成金 ・コミ協等への支援(助言等)	協働した団体数	67 (28)	31	19	20	21	・団体実数 ・平成30年度実績のうち、地域活動補助金により協働した団体数は、地域による子どもの見守り活動を支援する緊急枠により協働した39団体を含む。括弧書きは緊急枠を除いた団体数。	感染症対策消費品経費増額補助等を利用しながら、感染対策を講じ、地域活動を行っている様子がうかがえた。昨年度よりも協働した団体数も増加し、目標を達成することができた。	達成
25	5	各防犯団体の課題とその解決方法や危険箇所等の情報共有を行い、地域防犯力の向上を図り、もって、犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めます。	・各防犯団体間の情報共有や意見集約を実施 ・既存の不法投棄防止看板の修繕 ・防犯カメラ補助金申請の相談支援(例:ダミーカメラの貸出で効果検証等)	情報共有と意見集約(件)	—	—	—	1	1	・区内の防犯活動団体を対象にアンケートを実施し、その結果を資料として、18の防犯団体から29名が参加した情報交換会を開催した。 ・情報交換会では、防犯活動の効果、活動人員の高齢化と後継者不足等について、活発な意見が出された。 ・不法投棄看板12基を修繕し、ダミーカメラ5台を貸し出した。	達成	
26	5	危険な野生鳥獣目撃等事業に迅速に対応し、安全で快適な環境づくりを進めます。	・危険な野生鳥獣(クマ・イノシシ・サル等)目撃等事業対応マニュアルの整備 ・発生時連絡体制整備 ・隣接市町村(阿賀野市・新発田市)との連携	北区マニュアルの策定(件) 区役所内説明(回)	—	—	—	1	1	・危険な野生鳥獣目撃等対応事例数:4件	・隣接する新発田市と阿賀野市との情報共有も含めた北区独自の対応マニュアルを作成し、住民への注意喚起等の対応の迅速化を図った。 ・また、区役所内の関係者に説明会を開催し、周知を図った。	達成
27	5	つながり、交流し、支えあう地域づくりを推進するため、地域の中で世代間が交流し、子育てを支えあう取組みを行います。	・支援拠点施設等での子育て支援講座の実施 ・SNSによる北区の子育て情報の配信 ・地域での子育てを地域で支え合う体制づくり ・児童の福祉向上に寄与するイベントの実施	子育て支援講座の実施回数 ※3講座	—	—	—	16	12	・傾聴スキル習得講座4回 ・北区/バススクール2回 ・NP講座12回	・保育士など支援者向け講座である傾聴スキル習得講座では延べ55名の職員が参加しました。北区/バススクールでは保護者14名、子ども15名が参加しました。NP講座は後期中止となったが、保護者9名、子ども9名が参加しました。	一部未達成
28	5	つながり、交流し、支えあう地域づくりを推進するため、地域の中で世代間が交流し、子育てを支えあう取組みを行います。	・支援拠点施設等での子育て支援講座の実施 ・SNSによる北区の子育て情報の配信 ・地域での子育てを地域で支え合う体制づくり ・児童の福祉向上に寄与するイベントの実施	子育て応援カフェの実施回数	—	—	—	11	9	(2回は蔓延防止措置につき開催できず) ・ベビーカフェおよびよび11回	・早速健康福祉会館にて9回実施し子ども28人、保護者15名が参加しました。	一部未達成
29	5	つながり、交流し、支えあう地域づくりを推進するため、地域の中で世代間が交流し、子育てを支えあう取組みを行います。	・支援拠点施設等での子育て支援講座の実施 ・SNSによる北区の子育て情報の配信 ・地域での子育てを地域で支え合う体制づくり ・児童の福祉向上に寄与するイベントの実施	北区ふゅっこまつりの開催	開催	中止	縮小開催	開催	開催	・実行委員会で開催内容検討 ・内容を変更して開催	・絵馬工作キットの配布、展示、フォトスポットの設置を行いました。展示後の絵馬の返却及び出品が換えの際は128名の児童、保護者の来場がありました。	達成
30	5	災害時に迅速に対応できるように災害支援協定を締結した民間団体との連携強化を図ります。	・民間団体との意見交換会や連携体制の徹底・確認を目的とした合同訓練の実施	意見交換会(回) 合同訓練(回)	—	—	2	2	2	・民間団体との意見交換会により抽出された課題に対応する合同訓練の実施 ・協力業者が担当する路線の状態把握に寄与	10月の合同訓練に向け、事前に担当路線変更の周知や訓練方法等について打合せを行いました。訓練後には、次年度に向けた反省会を行い、協力業者と市との連携方法について検討しました。	達成